



EDINETの財務諸表の XBRL化と会計監査

2007/3/13

日本公認会計士協会 IT委員会委員長
公認会計士 中山 清美



会計上の課題 1

- EDINETタクソノミ標準化された勘定科目
 - タクソノミとは何か？
 - 電子的雛形
 - 標準化された科目を使うメリット
 - 標準化された科目を使うデメリット



会計上の課題 2

- 各社が有価証券報告書で実際に使っている勘定科目
 - 非常に多種多彩
 - タクソノミの拡張、追加
 - 会社の判断
 - 比較可能性確保をどう図るか？
 - 標準に変更した場合の開示上の取り扱い
は？



監査上の課題 1

- JICPA、XBRL Int. AWG、で議論中
- 監査対象は、何か？
 - 財務諸表
 - その他
- 具体的監査技法をどうするか？
 - 監査人側の課題
 - 会社との協議が必要



監査上の課題 2

- 内部統制の評価；財務諸表作成プロセス
 - 有価証券報告書などの開示書類の作成プロセス
 - 内部統制の評価対象となる
 - XBRL化するプロセス
 - 外部に委託した場合
 - 委託会社の内部統制の評価(SAS70、基準委員会報告書第18号)が必要となる可能性。
 - パッケージソフトを使用した場合
 - パッケージであっても無条件の依拠はできない。